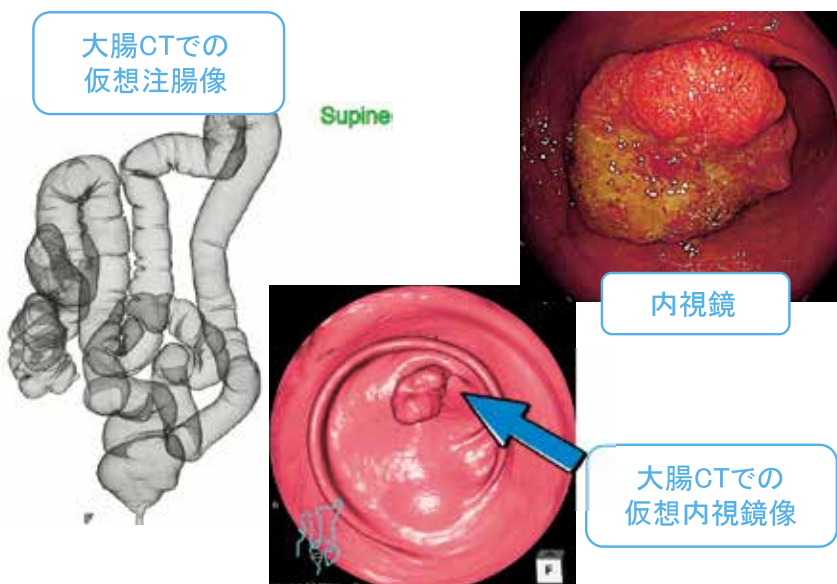


大腸CT検査技術認定施設 に認定されました

◆ 大腸CT検査（CTコロノグラフィ）について

- ・吸収されやすい炭酸ガスを肛門から注入し、大腸を拡張させた状態で撮影することで内視鏡や注腸検査のような画像を得ることができます。
- ・検査時間は約15分と患者さんにも比較的負担の少ない検査です。
- ・様々な研究でも検査精度の高さが証明されております。
- ・腹部全体を撮影するので、大腸以外の情報も見ることができます。



- ・当院では、大腸CT検査を行っており、2025年4月1日に
大腸CT検査技術認定施設に認定されました。
- ・検診で便潜血陽性となり大腸内視鏡検査を受けることに抵抗のある患者さんがおられましたら、ぜひ当院で大腸CT検査をご検討ください。
- ・大腸CT認定技師が在籍しており、質の高い検査を実施できます。
- ・また、女性患者さんには女性スタッフが対応しておりますので検査に
対して恥ずかしさや不安がある方でも安心して検査を受けていただけます。
- ・近隣の多数の施設から、大腸CT検査を紹介いただいております。

☆検査を希望される患者さんがおられましたら
当院の消化器内科までご相談ください

奈良県下 初導入！
AIと共に歩む 最新CT装置



最新CT装置

SIEMENS Healthineers SOMATOM Pro.Pulse
が2025年5月7日に導入されました



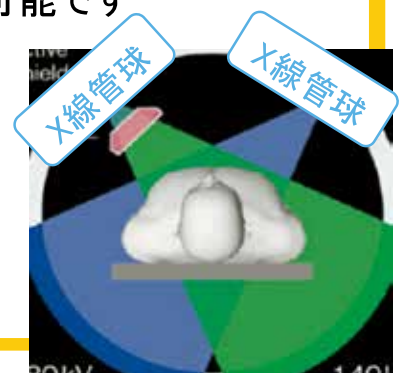
◆ 2つのX線管球を搭載

→高速撮影が可能で息が止められない患者さんや心臓CTで活躍します

◆ 最新技術 “Tin Filter” で低被ばくの検査が可能です

◆ AIを活用した自動化技術を組み合わせて
患者さんの負担を軽減します

◆ 幅広い分野で活躍する、
多機能な最新CT装置です



新血管撮影装置導入の紹介

診療放射線技師 増井 辰也

当センターの血管撮影装置が新しくなりました。(2025年1月～)

・シーメンス社製 ARTIS icono D-Spin



奈良県初導入

シーメンス社製 ARTIS icono D-Spinの特徴

✓ 画質の向上と高速・広範囲回転が可能

→短時間での3D撮影が実現され(頭部3D撮影：最短3秒)、
分解能の高い(高画質)の画像を作成することができます。

✓ 検査・治療時間の短縮

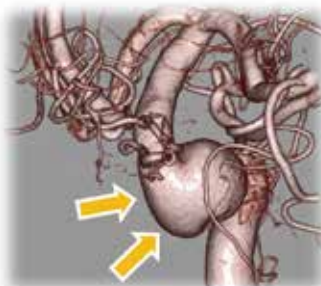
→手技中のワークフローが改善しセッティングにかかる時間を
短縮するだけでなく、同様の手技における設定の再現性も
高めることができ、検査・治療時間の短縮に繋がりました。

✓ 被ばく線量の低減

→X線の検出効率の向上により、以前の装置と比較し
放射線被ばく線量の低減が可能になりました。



脳血管3D画像



脳動脈瘤

患者さんにより良い医療を
提供できるように尽力致します！

令和7年4月1日付で奈良県が指定する 奈良県地域がん診療連携支援病院に 認定されました。

がん治療センター長・副院長 石川 博文

西和医療センター(旧県立三室病院)は循環器疾患の治療を主としてきた歴史があり、がん診療を病院のもう一つの柱とするために、5年以上前から「奈良県地域がん診療連携支援病院」の認定を目指してきました。

医師一人でのがん診療ではなく、多職種のスタッフで意見を交換して手術、化学療法や放射線療法など集学的に治療方針を決め、関係する院内のチームで支える体制を作り、身体の痛みのみならず、心の痛みも支える緩和ケア外来やがん相談支援センターを充実させました。加えて他病院や地域と連携する仕組みを作りました。このようにして広く“面”で、“全人的”にがん患者さんを支える体制が完成しました。



令和7年3月に「奈良県がん診療連携協議会」で認められ、大変嬉しい気持ちです。
今後も、どこにもひけを取らない全国レベルの質の高い医療を提供できるよう努めます。

「奈良県地域がん診療連携支援病院」とは・・・

国が認定するがん診療連携拠点病院等と連携を図りながら、がんの専門的な医療を提供する医療機関です。

認定要件には「診療体制」「診療実績」「情報提供」など多岐にわたる項目があり、それらの要件を満たすことで認定されます。

- がん相談支援センターを1階コンビニ前にて開設しています。
ご家族の方や地域の方などどなたでもご相談いただけます。
- がん患者さんやそのご家族が、同じ体験をした仲間と語り合える場所として「がんサロン」を開催しています。
詳しくはQRコードを参照ください。

